



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社
 コード番号 6915 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	16,022	△14.3	388	△54.7	478	△50.0	153	△81.4
2019年12月期第2四半期	18,705	△3.0	857	△19.0	956	△11.4	824	28.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △705百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 613百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	12.39	—
2019年12月期第2四半期	64.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	41,976	32,773	78.1
2019年12月期	44,813	34,656	77.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 32,773百万円 2019年12月期 34,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△14.0	800	△58.4	900	△58.6	400	△80.6	32.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	13,528,929株	2019年12月期	13,528,929株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,128,482株	2019年12月期	1,128,462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	12,400,450株	2019年12月期2Q	12,720,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 2020年5月14日に公表致しました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は、本日付の「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 1「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年8月27日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が各国に甚大な悪影響を及ぼし事態が深刻化いたしました。米国においては、経済活動が段階的に再開されたものの、感染者数が増加し予断を許さない状況が続くだけでなく、米中間の対立も常態化いたしました。中国においては、政府による景気対策支援が行われるなかで経済活動が再開され、回復傾向にはありましたが外需の停滞や一部活動制限が続き、ペースは緩やかに推移いたしました。他のアジア地域においては、感染症拡大によるサプライチェーンの混乱や中国政府による香港の統制強化による懸念など、極めて厳しい状況が続きました。

また、我が国経済は、世界経済が悪化する中、緊急事態宣言が発出され、内外経済の不透明感が急速に高まりました。経済活動の停滞が続くなか最悪期を脱しつつありますが、個人消費・設備投資とも低迷し、インバウンド需要が期待できず第2波の懸念が高まるなど、景気の回復力は弱く企業の景況感が大幅に低下いたしました。

このような経営環境の中で、当社はグループ丸となり「成熟市場」・「成長市場」のそれぞれを見据えた経営資源の選択と集中を継続しエリア戦略・戦略商品によって事業領域を広げ利益の拡大を展開し、目標達成を目指してまいりました。しかしながら、需要回復の見通しはなお不透明で、大変厳しい経営環境となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は16,022百万円（前年同四半期比14.3%減）、営業利益は388百万円（前年同四半期比54.7%減）、経常利益は478百万円（前年同四半期比50.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は153百万円（前年同四半期比81.4%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出とその余波の影響により主要分野が低調に推移し、売上高は4,040百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業損失は285百万円（前年同四半期は127百万円の営業損失）となりました。

東南アジアは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンの影響などにより主要分野が落ち込み、売上高は5,286百万円（前年同四半期比25.9%減）、営業利益は191百万円（前年同四半期比54.4%減）となりました。

中国は、他のエリアと比較して新型コロナウイルス感染拡大の直接的影響から早期に持ち直すと共にAV機器向けが堅調であり、売上高は4,799百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は215百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

その他の売上高は、米国はAV機器向けが好調であったものの、メキシコ・スロバキアでの自動車向けが軟調に推移し、売上高は1,895百万円（前年同四半期比18.1%増）、営業損失は16百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,837百万円減少し、41,976百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,620百万円及び受取手形及び売掛金の減少1,215百万円であります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ953百万円減少し、9,203百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少513百万円及び未払法人税等の減少147百万円であります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,883百万円減少し、32,773百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少1,024百万円及び為替換算調整勘定の減少493百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年5月14日に公表いたしました2020年12月期第2四半期（累計）連結業績予想および通期連結業績予想を修正いたしました。また、未定としていました2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正を行っております。詳細につきましては、2020年8月7日（本日）に公表いたしました「2020年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想の前提となった為替レートにつきましては、1米ドル=107円で算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,999	15,378
受取手形及び売掛金	9,100	7,884
有価証券	109	107
商品及び製品	1,806	2,193
仕掛品	351	424
原材料及び貯蔵品	2,107	2,378
その他	446	447
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	30,904	28,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,868	10,764
減価償却累計額	△7,337	△7,239
建物及び構築物 (純額)	3,530	3,525
機械装置及び運搬具	8,707	8,747
減価償却累計額	△5,792	△5,892
機械装置及び運搬具 (純額)	2,914	2,854
工具、器具及び備品	2,123	2,077
減価償却累計額	△1,689	△1,685
工具、器具及び備品 (純額)	434	391
土地	2,602	2,593
使用権資産	345	340
減価償却累計額	△58	△88
使用権資産 (純額)	287	252
建設仮勘定	153	89
有形固定資産合計	9,922	9,706
無形固定資産		
ソフトウェア	235	223
ソフトウェア仮勘定	16	3
その他	0	0
無形固定資産合計	251	227
投資その他の資産		
投資有価証券	2,673	2,164
繰延税金資産	217	224
その他	881	891
貸倒引当金	△38	△35
投資その他の資産合計	3,734	3,246
固定資産合計	13,908	13,180
資産合計	44,813	41,976

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,820	5,306
短期借入金	1,020	1,020
未払法人税等	237	90
賞与引当金	351	324
その他	1,234	1,079
流動負債合計	8,664	7,821
固定負債		
繰延税金負債	598	473
退職給付に係る負債	576	620
その他	318	288
固定負債合計	1,492	1,382
負債合計	10,157	9,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	31,005	29,980
自己株式	△2,236	△2,236
株主資本合計	33,550	32,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	887	524
為替換算調整勘定	237	△256
退職給付に係る調整累計額	△18	△21
その他の包括利益累計額合計	1,106	247
純資産合計	34,656	32,773
負債純資産合計	44,813	41,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,705	16,022
売上原価	14,773	12,865
売上総利益	3,932	3,157
販売費及び一般管理費	3,074	2,769
営業利益	857	388
営業外収益		
受取利息	81	60
受取配当金	38	38
その他	48	49
営業外収益合計	168	148
営業外費用		
支払利息	4	8
為替差損	51	36
その他	13	13
営業外費用合計	69	58
経常利益	956	478
特別利益		
固定資産売却益	90	2
ゴルフ会員権売却益	—	3
助成金収入	—	24
特別利益合計	90	29
特別損失		
固定資産除売却損	10	4
減損損失	—	18
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権売却損	—	4
新型コロナウイルス感染症による損失	—	190
特別損失合計	10	216
税金等調整前四半期純利益	1,037	291
法人税等	212	137
四半期純利益	824	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	824	153

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	824	153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	△362
為替換算調整勘定	△430	△493
退職給付に係る調整額	11	△2
その他の包括利益合計	△210	△859
四半期包括利益	613	△705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613	△705
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,037	291
減価償却費	575	583
減損損失	—	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59	45
受取利息及び受取配当金	△120	△99
支払利息	4	8
為替差損益 (△は益)	41	5
固定資産除売却損益 (△は益)	△80	1
助成金収入	—	△24
新型コロナウイルス感染症による損失	—	190
売上債権の増減額 (△は増加)	380	1,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	△834
仕入債務の増減額 (△は減少)	△253	△403
その他	△67	△250
小計	1,679	537
利息及び配当金の受取額	134	117
利息の支払額	△7	△8
助成金の受取額	—	21
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△145
法人税等の支払額	△287	△347
法人税等の還付額	7	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,525	175

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,392	△3,150
定期預金の払戻による収入	3,688	3,044
有価証券の取得による支出	△0	—
有価証券の売却及び償還による収入	110	—
有形固定資産の取得による支出	△579	△450
有形固定資産の売却による収入	277	3
無形固定資産の取得による支出	△30	△30
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	28	111
その他	28	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△868	△497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2	—
自己株式の取得による支出	△202	△0
リース債務の返済による支出	△5	△29
配当金の支払額	△1,272	△1,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482	△1,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△168	△160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△994	△1,688
現金及び現金同等物の期首残高	14,775	13,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,780	12,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けております。現時点では新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せず、この状況がいつまで続くのか予想することは困難であるものの、各地域において経済活動は徐々に再開していることから、当連結会計年度の一定期間にわたり一時的な需要低下がありつつも、今後需要は徐々に回復していくと仮定し、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定）に反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	4,718	7,139	5,242	17,100	1,605	18,705	-	18,705
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,640	50	389	2,080	29	2,110	△2,110	-
計	6,358	7,190	5,632	19,180	1,635	20,816	△2,110	18,705
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△127	420	218	512	△1	510	347	857

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	4,040	5,286	4,799	14,127	1,895	16,022	-	16,022
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,281	69	356	1,706	15	1,722	△1,722	-
計	5,321	5,355	5,156	15,833	1,910	17,744	△1,722	16,022
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△285	191	215	122	△16	106	282	388

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において18百万円であります。